

副市長の所信を伺う

～市長の補佐役として
施策実現に全力で取り組む～



ひでやすの
小野 泰秀

創生会

質

現在の本市の課題と
対応策は。

市長を補佐し、市長の命を受け、政策や企画立案を行うとともに、職員を監督し、市長から委任を受けた事案の決定や処理を行います。

答
副市長

副市長としての果たす役割と使命は。

質

豊後大野市の教育行政は

～地域住民や保護者の意見やニーズにも応えながら
学校教育と社会教育の充実を図る～

答
副市長

生産年齢人口の減少をいかに食い止め、労働者をいかに確保するかが最大の課題であり、本市の地域資源を活用し新たなビジネス創出や地場産業の活性化により、雇用の創出や拡大で労働者を確保していくことが課題解決の一つと考えます。

質

平成18年、約半世紀ぶりに教育基本法が改正され、新教育長としての教育指針、理念、抱負は。

答
教育長

来年度はキャリア教育を学校教育の中心に据え、「主体的な自己実現を目指して、15に春を」を基本方針とし、「ふるさとを愛し、地球とともにシアワセな未来を拓く、たくましく、心豊かな豊後大野の人づくり」という基本理念の下、学校教育の充実を図ります。抱負は、子ども達はもちろんですが教職員とも距離感のない暖かい教育行政を目指していきたい。

定住促進を図るための 住宅団地の造成、分譲は

～一度立ち止まって検討する～

質

旧県職員三重宿舍跡地は平成28年6月議会で定住促進事業の用に供するため、約3728万円で土地を取得したいとして、執行部から提案された。

答
市長

現在、事業を停止し、ゼロベースで土地の利活用について検討しています。

議会も定住政策を押し進めるために早急な対応が必要との考えから全会一致で議決したが、その後の進捗状況は。



旧県職員三重宿舍跡地



かわのゆうじ
川野優治

緑政会

三重町の旧市街地の活性化は

～駅前広場等の整備の事業化に向け準備を進めている～

質

下赤嶺地区の新商業地は、大型店の出店が相次ぎ順調に発展しているが、旧市街地は衰退の一途をたどっている。旧市街地の活性化計画は。

答
市長

本年3月に「まちづくり会議ぶんごおの未来カフェ」から三重町駅周辺まちづくり基本計画が提案されました。この基本計画の中には、まちの未来に必



三重町駅前通り

要なハードやソフトの総合整備方針が提案されています。ハード面では、駅周辺への公園や駐車場の整備、周辺道路網の構築、駅南北を結ぶ自由通路の整備などがあります。ソフト面では、地域づくりイベントの運営・企画などを担う組織づくりの構築等が提案されています。この提案は、非常に

多くの計画が盛り込まれていることから、全てを実現させることは困難であると考えています。地元住民との合意形成や利害関係者との協議により、実現可能な事業を精査する必要がありますが、駅前広場や周辺道路の整備は比較的実現しやすい部分ですので、平成30年度の事業化に向け準備を進めています。

質

都市計画道路秋葉谷川原線は、農業センターの中を通っている区間に安全な歩道がなく、ウォーキング等に利用しづらい状況にある。早急に整備すべきでは。

農業センター前の道路に歩道を

～歩道設置に向け現地調査や協議を進める～

答
市長

これまでも、歩行者の安全を確保する必要があるとして、自治会をはじめ、各種団体から歩道設置に関するご要望をいただいております。周辺をウォーキングする市民の方も多く見られるようになりました。そのため本市としても、今後、歩道の設置に向け、現地調査や地権者との協議を進めていきたいと考えています。

その他の質問

・三重町東部地区の悪臭問題について